

2017 年度
ミス・パリ エステティック専門学校
名古屋校

自己評価報告

2018 年 4 月

学校法人ミスパリ学園
ミス・パリ エステティック専門学校
名古屋校

2017年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校名古屋校は、愛知県名古屋市東区に2008年4月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校（大阪府北区）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、28年の歴史があり、エステティック教育においては、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。

専修学校として再スタートをする際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2017年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2017年4月1日～2018年3月31日

2. 実施方法

(1)校長以下、課長、主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行います。

(2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしています。

- (3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととします。
- (4)評価は職員会議時に時間を作り、各項目の説明、解説をしながら行いました。職員会議に欠席した教職員については後日、個別で行いました。
- (5)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとします。

3. 自己評価の項目

- (1)教育理念・目標 (2)学校運営 (3)教育活動 (4)学修成果
(5)学生支援 (6)教育環境 (7)学生の受入募集 (8)財務
(9)法令等の遵守 (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価（5段階とする）

- 5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

以上

2017年度 ミス・パリ エステティック専門学校 自己評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

2. 本年度に定めたていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%・就職率 100%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（ミスパリ 5校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

3. 自己評価

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか。	5	4
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか。	5	5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか。	5	4

4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか。	4	4
5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか。	5	4

取り組み

- ・教職員への教育品質目標の明確化を図るため、会議報告・外部機関による審査を受けた結果などを、回覧・閲覧方法の伝達に加え、講師研修を活用して周知を図ったことで自己評価の上昇がみられた。

課題

- ・講師の目標に対する評価として、教育実施記録の更なる活用。

今後の改善策

- ・(1)-3の評価として、年2回の保護者会で保護者会アンケートを実施し、保護者の認知度を確認する。
- ・(1)-4の評価を5にあげるため、教職員の目標に対する評価として自己評価を年4回(6月、9月、12月、3月)実施する。また、授業アンケートを基に次年度の目標につなげるよう、管理職との面談を徹底する。

(2) 学校運営

	評価項目	評価	前年
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	5	4
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	4	4
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元に開放しているか	5	3
4	地域との協力関係が確立されているか	3	3
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	5	4
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	4	4
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	5	4
8	教職員の健康診断を実施しているか	4	4

9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	4	3
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	4
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	5	4
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	4
<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会への貢献として学内サロンや文化祭の宣伝に加え、特別養護老人ホームのイベント参加や同施設でのボランティア活動を実施したことで自己評価を上げる事ができた。 ・各種システム化については導入から1年経過したことで、効率化が図られたという実感を持てるようになってきた。 ・教職員の健康管理について、健康診断の予約、受診後の報告を徹底した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との協力関係の確立に向けての地域活動への参加不足。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との協力関係の確立を図るため、学校周辺の清掃活動の実施などを検討していく。 			

(3) 教育活動

	評価項目	評価	前年
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	4
2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	5	4
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	4	4
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	4	4
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	4	4

6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	4	4
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	4	4
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	5	4
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	4
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	4	4
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5	4
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	4	3
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	4
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	5	4
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	4

取り組み

- ・月に1回の定期的な職員研修の実施により、指導内容の統一を図った。
- ・保護者・業者に対して、授業参観や模擬授業を年間3回実施。
- ・年2回、学生に授業アンケートを実施し、授業の進捗状況を確認並びに改善した結果、理論・技術共に学生アンケートでは、学習の成果について「身についた」との実感が得られている。

課題

- ・教員に対する理論研修の実施が少ないため、各教員に対し理論の授業の質向上策を検討。
- ・(3)-5の評価を上げるために、教職員間で情報の共有を行い、学生指導への一貫性を図る。
- ・授業アンケートから理論の授業の進捗や難易度に対する満足感を上げる。

今後の改善策

- ・学生への指導に一貫性を持たせるため、各学年のミーティングを2か月に1回実施する。
- ・理論の授業を学生に受け入れやすく理解しやすいものにするため、講師研修内で模擬授業を実施し、授業の改善を図る。
- ・1回ごとの授業の到達目標を授業開始時に伝えること、前回の授業内容の復習時間を10分間実施し、学生の理解度を授業の都度、確認する。
- ・各教科の小テスト結果から教科担当者が定期試験までの対策を検討する。

(4) 学修成果

	評価項目	評価	前年
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	4
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	5	4
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	5	4
4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか	4	4

取り組み

- ・就職率100%。キャリア教育の充実、早期活動に伴い、9月に全員の就職が決まった。
- ・担任・副担任制度を導入し、また担任に関わらず複数の講師により面談を実施したこと、欠席連絡、ご家族との連絡など細かく対応ができたことにより退学者が減り（14人から6人）、前年比で11ポイント上昇した。

課題

- ・(4)-4への取り組みとして、キャリア教育担当者と全教職員への情報共有。

今後の改善策

- ・講師が資格取得の重要性や学生のやる気を向上させるよう伝える。また、資格試験日までの対策方法、スケジュールを学生が把握できるよう朝礼、終礼を活用する。
- ・卒業生に対するフォローの充実として、卒業生が参加しやすい地域での同窓会を開催し、卒業後の報告・意見交換の場を提供する。
- ・毎年行われる合同企業説明会時に卒業生の勤務状況を確認しキャリア教育の授業に反映する。

(5) 学生支援

	評価項目	評価	前年
1	学生の心身面での健康管理体制が整っているか	4	4
2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	4
3	学生のサークル活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	4	3
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	5	4
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有しているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	4	4
<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に3回の面談に加え、適宜気になる学生に面談を実施したことで、学生の悩みを細かく把握することができ、学生が講師に相談しやすい環境づくりを心がけた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の抱える悩みに対し早期発見に努め、モチベーションの維持、心理的サポートを強化する。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定後、学生のモチベーション維持のための面談、フォローを強化するために、2年生の面談時期・回数を検討する。(5月、12月の年2回実施予定) 			

(6) 教育環境

	評価項目	評価	前年
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	5	3

2	学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられているか	4	3
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	
<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品・機器等の月に1回の定期点検の徹底と迅速な修理・修繕を行った。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休憩を取る環境の充実を図る。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術室(8階、6階)に食事時のイスを10脚ずつ補充し、昼休憩の環境を整える。 			

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	2	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	4
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5
5	入学(予定)者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5
<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集計画は立てられているが目標が達成されていない。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員充足に向け、効果的な学生募集を行うことと、特に社会人に向けた募集を強化する。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の募集計画を職員が周知できるよう研修を導入する。また、カウンセリング研修を年に数回実施する。 			

(8) 財務

	評価項目	評価	前年
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5	4
2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	4
3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	4
取り組み ・年2回の校舎の修繕計画を立案し、実行している。 ・会計監査は毎年問題なく、好評価を得ている 課題 ・個人のコスト意識を高める。			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	4
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	4
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	4
4	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか	5	4
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	5	4
取り組み ・SNSの使用に伴うリスクなど、学生と教職員に注意喚起を図った。また、SNSを利用している学生に対しては、個人の特定につながる情報に留意して行った。 課題 ・引き続き教職員全員が法令等を意識して行動する。			

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年
--	------	----	----

		価	年
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	5	4
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	4	3
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	5	4
<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員・学生全体でのごみの分別、ごみの削減など環境問題への取り組みを行った。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを少なくするための分別などが不十分である。 ・留学生受入支援に対する意識並びに体制が不足している。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生の入学規定を全教員に徹底周知し、受入れ体制を整える。 ・ごみの分別を徹底するなど講師・学生共に環境問題に関する認識を持たせ取り組んでいく。 			